

「横浜薬科大学 WEB 合同企業説明会」で薬剤官がZOOMで説明



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3等陸佐）は令和6年3月9日（土）、陸上自衛隊関東補給処用賀支処（東京都世田谷区）の薬剤官である石原駿也1等陸尉の支援を受け、横浜薬科大学（横浜市戸塚区）主催のWEB合同企業説明会に参加した。

「横浜薬科大学WEB合同企業説明会」は、ウェブ会議システム「ZOOM」を活用した、約50の病院や官公庁が参加したオンラインイベントで、当日、上大岡募集案内所は、質疑応答を含めて1クール30分間の説明を計4回実施し、同校の学生の他、キャリアセンター職員も参加して説明を聞いてくれた。

石原1尉が自衛隊の薬剤官の任務や業務内容を説明し、その魅力をアピールすると、参加した学生から「普段の業務スケジュールを教えてください」「認定薬剤師の資格は取れますか」等の業務に関する質問や、「産休や育休はどれくらい取れますか」「復帰後には元の配置に戻れますか」等のワークライフバランスに関するなど様々な質問があり、石原1尉は一つ一つの質問に丁寧に対応していた。

上大岡募集案内所では、「今後も学校との連携を深め、多くの学生や教職員に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。

そらじょ きっかけは海外発メール！空女自衛官候補生入隊秘話



渡戸さん（左）と安樂広報官（右）

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 細田2等空尉）の安樂広報官と高橋隊員の二人の女性隊員サポートを受け、令和6年3月28日（木）に航空自衛隊自衛官に入隊した渡戸美和（わたんど みわ）さんを紹介したい。

最初の出会いは、令和5年2月に市ヶ尾募集事務所に届いた「初めまして。私は現在カナダに住んでおり、今年の夏に帰国予定です。来年の4月に自衛官候補生になることを目指しております」という渡戸さんからの一通のメールだった。

それ以降、約8千km離れたカナダとの間でメールでの交流を重ね、本人から「先日はたくさん質問へのご回答、誠にありがとうございました。今でもたまにメールを見返し、試験へのモチベーションをキープしております」と言ってもらえるほど親交を深めた。

令和5年8月の帰国直後には、「ご無沙汰しております。無事に昨夜帰国いたしました。今月中には是非、市ヶ尾募集案内所へ伺わせてください」とのメールが届き、ご家族にも応援してもらっている様子で、8月22日に初めて市ヶ尾募集事務所を訪問してくれた。

渡戸さんは、それまでの交流のおかげで安樂広報官や高橋隊員ともすぐに打ち解けることができ、その後、空自の基地見学に参加して現役隊員と交流したり、試験対策を頑張ったりして見事試験に合格した。

令和6年3月27日（水）、着隊先の防府南基地（山口県防府市）に向けて出発するため、新横浜駅に晴れやかな笑顔で現れた渡戸さんは、新幹線の出発時間が迫ると、安樂広報官と高橋隊員に「自分を追い込んで頑張ります」と決意を述べ、「ハグしてもいいですか」と別れを惜しんで手を振りながら旅立った。

市ヶ尾募集案内所は「一年以上にわたり親身に寄り添った結果が実った。これからも個々のニーズに合った対応を考え、優秀な人材確保に邁進していきたい」としている。



お母様が娘さんの出発を撮影



新幹線ホームでの見送り

